

市議会第1回定例会

当初予算案等を提出

市税2.1%増 前年度比

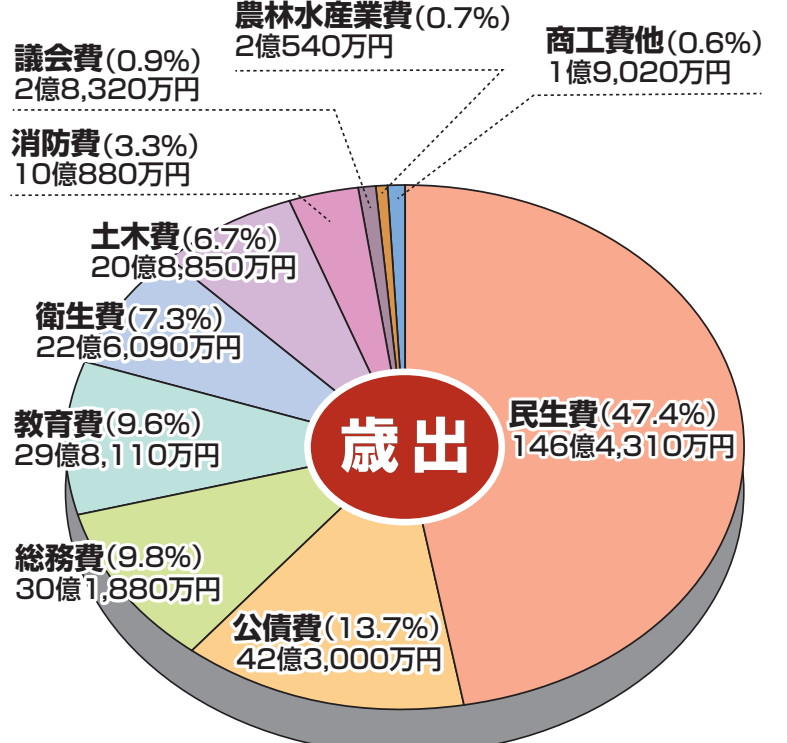
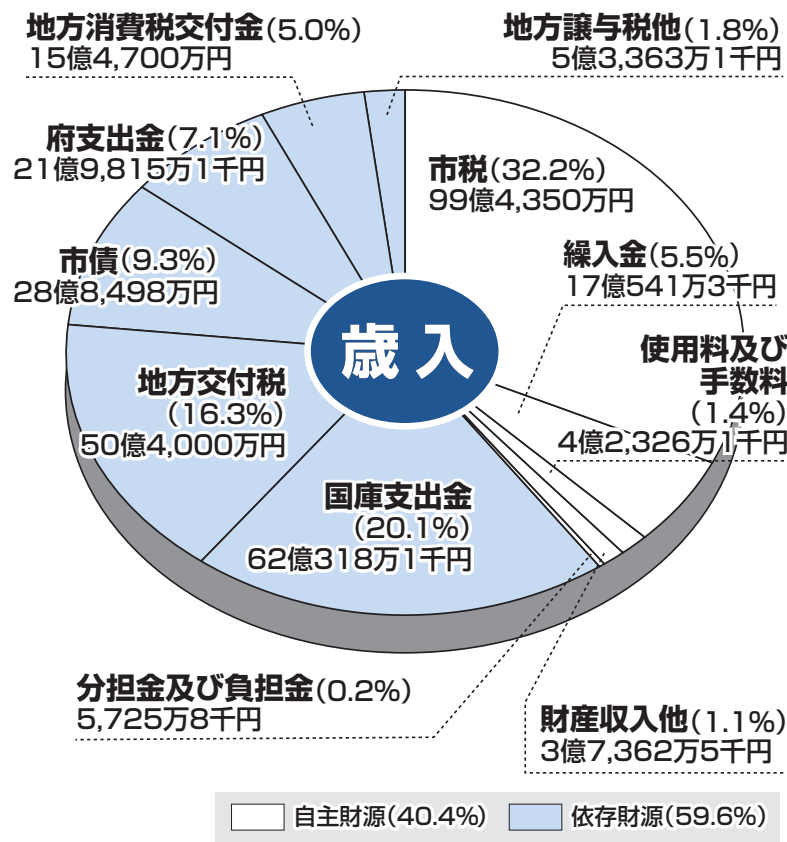
令和6年八幡市議会第1回定例会が2月26日から開催され、市は当初予算案や条例案などを提出しました。また、定例会初日に川田市長が初めてとなる令和6年度施政方針を表明しました。

※令和6年度当初予算案の主な事業や施政方針は3～5面に掲載しています。

◆**予算総額**

令和6年度一般会計の予算総額は、309億1千万円で、前年度より9億7千万円(3.2%)増加しています。

また、特別会計と事業会計を含む全会計の予算総額は、523億1,936万7千円で、前年度より15億3,727万(3.0%)の増加となります(表)。



一般会計歳入・歳出 309億1千万円

◆令和6年度当初予算額

会計名	予算額	前年度比 (▲はマイナス)
一般会計	309億1,000万円	9億7,000万円
特別会計		
休日応急診療所	2,730万円	△20万円
駐車場	1,120万円	260万円
国民健康保険	75億3,010万円	3,360万円
介護保険	66億1,440万円	2億8,140万円
後期高齢者医療	24億9,020万円	2億5,650万円
水道事業会計	23億9,877万円	△1,367万4千円
下水道事業会計	23億3,739万7千円	704万4千円
計	523億1,936万7千円	15億3,727万円

◆**歳入**

景気回復等の影響から法人市民税や固定資産税の増収が期待され、市税は前年度より2億3,500万円(2.1%)の増加。地方交付税は国の交付税総額と税収等の動向を勘

案し、前年度より61,000万円(1.2%)増加する見込みです。

◆**歳出**

民生費は、国事業である物価高騰の負担増に対する支援などに必要な経費や児童手当の拡充など、前年度より15億5,200万円(11.9%)増加。土木費は橋本駅周辺拠点整備や

木造住宅耐震改修費助成事業の助成率と助成限度額の拡充など、前年度より3億2,200万円(16.9%)増加しました。一方、消防費は消防署東部分署の完成等により、前年度より8億2,400万円(44.3%)減少しました。



かわた市長の 徒然やわた帖

春新たな節目

やっとな桜の花もほころび、春がやっとなまってきました。

今春にご卒業・ご入学・ご就職など、新たな節目をお迎えになられた皆様、おめでとうございます。八幡市内の就学前施設も再編し、今春からより良い環境で新たにスタートします。

さて、市長選挙時や就任後も様々なところへ足を運び、一人でも多くのひととの対話に努めてまいりました。そして、庁内各部署との話し合いも重ね、経常経費高騰による厳しい予算の範囲ではありましたが、可能な限り反映させてまいりました。今月号はそんな令和6年度予算の特集号となっています。

市議会でご審議いただいた議論・ご指摘を踏まえ、すべての市民が八幡市で心穏やかに過ごせるように、そして、働く先・訪れる先・住まう先として選ばれるまちを目指し、取り組みを進めてまいります。

皆様のご支援・ご協力をよろしくお祈りいたします。

市公式ホームページ リニューアル

4月1日 午前10時 ごろ

構成やデザインを一新し、より見やすく、より快適に利用できるようにするため、市公式ホームページをリニューアルします。



- ◆**リニューアルのポイント**
- ▶ 青と緑の色を基調に、シンプルなデザインに一新。
 - ▶ アイコンを効果的に配置し、直感的な操作性を意識したレイアウトに変更。
 - ▶ 誰もが見やすく読み間違いが少ない字体「UDフォント」を採用。
 - ▶ 音声読上機能に速度調節の機能を追加。さらに「やさしい日本語」への自動変換機能も搭載。
 - ▶ スマートフォンやタブレットなど、画面の大きさに合わせて表示サイズを自動調整するレスポンシブデザインを採用。
 - URLの変更について
トップページのURLを変更しておりますので、「ブックマーク」等に登録している場合は、再登録をお願いします。

令和6年度の主な事業

令和6年度の主な事業を紹介します。その他の事業は、4～5ページにも掲載しています。

新規 = 新たに実施する事業 **充実** = 内容を拡充する事業
継続 = 継続して実施する事業



教育・子ども

- 新規** 給食費保護者負担軽減助成 6,780万円
学校給食費の無償化に段階的に取り組むため、令和6年度は給食費の保護者負担の4分の1程度を助成。
- 新規** 小学校屋内運動場空調設備等整備(工事)(八幡小・有都小) 1億6,000万円
令和6年度で全ての小中学校屋内運動場の空調設備整備が完了。
- 新規**・**充実** 公立幼稚園における子育て支援事業の充実(2歳児向けプレ保育の導入、預かり保育の時間拡大) 167万円
- 充実** 民間による小学校水泳指導(八幡小・くすのき小) 1,386万円

まちづくり・産業

- 新規** 石清水八幡宮駅周辺地区まちづくり構想の検討 1,000万円
まちの玄関口としてふさわしい駅前整備に向けたランドデザインを検討。
- 新規** 地域公共交通網の再編検討 500万円
- 新規** 吉野遊園雨水地下貯留施設整備(設計) 1,700万円
- 充実** ふるさと納税の充実 243万5千円
- 継続** 新・空中茶室創造推進事業 100万円



健康・福祉・コミュニティ

※の付いた事業の詳細は、下記をご覧ください。

- 新規** がん患者支援の充実(※) 190万円
- 新規** 視覚障がい者向けパソコン講座の充実 30万円
- 充実** 子育て支援医療給付の拡充(対象年齢を18歳の年度末まで拡充)(※) 2,740万円
- 充実** 高齢者保健事業・介護予防等一体的実施事業、後期高齢者歯科検診(オーラルフレイル予防) 1,136万円
- 継続** やわた未来いきいき健幸プロジェクト 3,946万円
- 継続** コミュニティ事業推進 3,480万円

下の3つの事業は3月の市議会で可決され次第実施します。

木造住宅耐震改修費助成事業の助成内容を一部拡充

詳細は今月号の6面をご覧ください。

令和6年能登半島地震を受け、京都府と協調し、2年間の時限措置として耐震改修費助成事業の助成率および助成限度額を拡充します。

■ 困家庭支援課 (☎983・1112)

子育て支援医療給付を18歳の年度末まで拡充

現在、通院に対する医療給付の対象年齢は中学生(15歳の年度末まで)ですが、令和6年9月1日以降の診療分から高校生(18歳の年度末まで)に拡充します。

■ 注意事項
4～8月の高校生の入院・通院時の医療費も、9月から市役所窓口にて償還払いをしますが、その際は、医療機関発行の領収書が必要となりますので、紛失されないよう、大切に保管をお願いします。

家庭には、8月末までに受給者証を送付します。

がん患者のウィッグ・胸部補装具の購入費用を一部助成

社会参加への不安や精神的なストレスを持つがん患者にウィッグ等の補装具の購入費用を一部助成します。

■ 対象者(次のすべてを満たす人)
① 申請日時点で6カ月以上本市に住民登録がある人
② がんと診断され、治療を受けたか現在受けている人
③ がん治療に伴う脱毛がある人

■ 申請書にがん治療を証明する書類と購入金額がわかる領収書を添えて、健康推進課窓口(☎983・1117)に持参、または郵送(〒614・8501 市役所健康推進課(住所不要))してください。

■ 対象補装具(助成上限額)・ウィッグ、人工乳房等(3万円)
・補正下着等(1万円)
※助成額は購入費用と助成上限額のいずれか低い金額。
※令和6年4月1日以降に購入した対象補装具で、購入後1年以内のものに限る。
※申請書は健康推進課、市ホームページから入手可。
※その他詳細はお問い合わせください。

④ 対象補装具について、過去または他の助成を受けていない人

■ 対象補装具(助成上限額)・ウィッグ、人工乳房等(3万円)

人、または乳房切除手術を受けた人

今こそ成長を掴むまちづくり

2月26日開会の令和6年八幡市議会第1回定例会で、川田市長が初めての施政方針演説を行いました。

施政方針は、市政運営の基本的な方向を示すもので、その主な内容を紹介いたします。施政方針の全文は市ホームページに掲載しています。



川田市長 初の施政方針演説



この施政方針は、私のこれからの1期目4年間に向けての第一歩であります。市民の皆様とともにこの八幡が成長を掴み、これからの時代へ心新たに歩み出すその旗印となりますよう、心を込めて職員の間でも議論を重ねてまいりました。堀口前市長の思いを受け継ぎながら、市民の皆様のご意見や本市の現状を踏まえ、様々な政策課題に優先順位をつけて取り組み、今、八幡だからこそできる成長を掴むまちづくりを実現し、その成長の果実を市民生活の充実として分け合う市政運営を目指してまいります。

まず、令和6年1月1日に発生いたしました、石川県能登地方を震源とする令和6年能登半島地震につきまして、お亡くなりになられた方々に対し謹んで哀悼の意を表するとともに、被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、一日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

本市といたしましては、防災当日から緊急消防援助隊京都府大隊の一員として消防職員の派遣や、避難所運営を行う職員を派遣するなど、可能な限りの支援を行っているところであります。私自身、現地に派遣した職員から活動状況や被害状況の報告等を受けて、災害による被害を最小限にとどめるには、平時

成長の果実を分け合う市政目指す 八幡市長 川田翔子

からハード・ソフト両面で対策を講じておくことが重要である、と改めて認識いたしました。さて、令和5年は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行され、社会経済活動が徐々に正常化してまいりました。他方で、緊迫した世界情勢が続く中、円安やエネルギー価格、原材料価格の上昇を主な要因とする物価高騰が市民の皆様の家計を直撃し、大きな影響を及ぼすこととなりました。

こうした状況に鑑み、11月12日の市長就任直後から国の経済対策を活用し、「上下水道基本料金の2カ月分(1期分)の減免」や「低所得世帯への追加支援給付金給付事業」「農業者への緊急支援事業」など、市民の皆様のご生活の下支えとなる取組を進めてきたところでございます。

令和6年度もこのような状況が続くとみられる中、市民の皆様のご生活実感が増すよう、市民の皆様の生活の実現に向けた当初予算の編成に取り組んでまいりました。

人口減少・少子高齢化が進む本市におきましては、これまで以上に子育て支援施策の充実に取り組みしていく必要があると考えております。国におきましても昨年12月に「こども未来戦略」を策定され、こども・子育て政策を大幅に拡充する方針が示されました。その動向を注視しつつ、歩調を合わせながら取り組んでまいります。

併せて、単なるコストカットや市民負担増を強いることのないよう、「新たな成長、新たな財源確保」などによる持続可能で健全な財政運営の確立も同時に行ってまいります。

子どもが輝く 未来のまち やわた

子育て世代の負担軽減に向けては、学校給食について、児童及び生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図りながら、令和6年度は保護者負担の軽減に取り組むこととしております。今後も国や京都府と連携し、支援を求めながら無償化に段階的に取り組んでまいります。また、所得の低い妊婦の方に対し、妊娠判定検査に要した医療機関の初回受診料の一部を助成するとともに、対象者の状況を継続的に把握し必要な支援につなげるなど、妊娠・出産から子育てまで、切れ目のないサポート体制の構築に取り組むこととしております。



- 給食費保護者負担軽減助成(新規) 6,780万円
- 初回産科受診料助成(新規) 10万円
- 1カ月児健康診査の実施(新規) 216万円
- 産後ケア事業利用料助成(新規) 13万8千円
- 健幸スマイルスタジオ(充実) 25万9千円
- 預かり保育の時間拡大(充実) 67万円
- 2歳児向けプレ保育の導入(新規) 100万円
- 民間保育所・認定こども園への支援拡充(新規) 712万5千円
- ファミリーサポートセンター利用料助成(新規) 50万円
- 地域子育て支援拠点事業助成(充実) 594万円
- 民間による小学校水泳指導(八幡小・くすのき小)(充実) 1,386万円
- 小学校屋内運動場空調設備等整備(工事)(八幡小・有都小)(新規) 1億6,000万円
- 男山第二中学校武道場長寿命化改良(工事)(2月補正)(新規) 1億3,300万円
- 男山東中学校エレベーター整備(設計)(新規) 1,790万円
- 学力向上推進事業(多様な学びの場充実・学びの土台)育成(新規) 2,590万円

ともに支え合う 共生のまち やわた



「ともに考え、ともに実現するまちづくり」は、地域コミュニティがその礎であると考えております。しかし、少子超高齢社会の進展や新型コロナウイルス感染症の影響により、地縁的な絆や地域コミュニティの希薄化に拍車がかかっております。

このことから、地域での様々な交流を促進するとともに、市民の皆様のご意見を伺い、協働しながらまちづくりを進める「チームやわた」の基本姿勢のもと、自治組織団体などと連携し、市民誰もが互いに人権を尊重し、支え合い、自分らしく活躍できる社会の実現を目指してまいります。

- 市民協働活動事業助成(継続) 100万円
- 女性弁護士相談の実施(新規) 38万円
- 男女共同参画プラン改訂(新規) 300万円
- 外国人が暮らしやすい地域社会づくり(充実) 131万円
- 平和推進(平和首長会議など)(一部新規) 100万円
- 視覚障がい者向けパソコン講座の充実(新規) 30万円
- 「談話」プロジェクトの推進(継続) 616万円
- 成年後見中核機関の整備(新規) 50万円
- 低所得世帯等物価高騰対策支援及び定額減税補足給付金給付事業(新規) 9億8,800万円※2月補正分含む。
- コミュニティ事業推進(継続) 3,480万円

誰もが「健康」で「幸せ」な 健幸のまち やわた

全ての世代が健幸で暮らしやすいまちづくりに向けては、やわたスマートウェルネスシティ計画を令和5年12月に見直しました。これまでから取り組んでおります「人」と「まち」の健幸づくりを継続するなかで、6年目を迎えます「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」は新たな取組も始めながら、今後も多くの市民の皆様にご参加いただける事業として定着を図ってまいります。

- やわた未来いきいき健幸プロジェクト(継続) 3,946万円
- やわたヘルスプロモーション推進(キッズ健幸アンバサダー)(継続) 573万円

- 子育て支援医療給付の拡充(充実) 2,740万円
- 予防接種予診票の外国語翻訳(新規) 58万3千円
- 障がい者医療給付の拡充(充実) 494万円
- がん患者支援の充実(若年がん患者在宅療養支援事業、がん患者補装具購入費助成事業)(新規) 190万円
- 高齢者保健事業・介護予防等一体的実施事業、後期高齢者歯科検診(オーラルフレイル予防)(充実) 1,136万円
- 八幡市あんしんネットワーク事業(行方不明高齢者等早期発見訓練、GPS、個人賠償責任損害保険加入)(充実) 89万円※介護特会



持続可能な 安心・安全のまち やわた



防災・減災対策につきましては、令和6年能登半島地震を受け、旧耐震基準の木造住宅を対象とした耐震改修費助成のうち本格改修分について、京都府と協調し、2年間の時限措置として助成率及び助成額を拡充することとしております。

また、避難所における生活環境の改善及び充実等を図るため、令和5年度にふるさと納税制度及び企業版ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによりいただきました寄附金を活用し、トイレカーを導入することとしております。

- 木造住宅耐震改修助成(耐震改修)(充実) 4,500万円
- 防災対策(トイレカー、防災アプリ運用、防災士登録手数料等)(継続) 2,899万円

- Live119映像伝送システム導入(新規) 205万円
- 公営住宅管理(一丁地耐震・外壁改修等)(継続) 7,550万円
- 旧庁舎および敷地環境整備事業(新規) 2,630万円
- 配水管耐震化工事(継続) 2億6,930万円※水道事業会計
- 管渠改築・管路施設耐震化工事(継続) 1億1,000万円※下水道事業会計
- 吉野遊園雨水地下貯留施設整備(設計)(新規) 1,700万円※下水道事業会計
- ふるさと納税の充実(充実) 243万5千円
- 電算化推進事業(基幹業務システム標準化等)(継続) 1億360万円

しなやかに発展する 活力のまち やわた



活力と魅力あふれるまちづくりに向けては、産業振興ゾーンへの企業立地を促進するため、地域未来投資促進法に基づく新たな基本計画を策定することとしております。また、京都府が実施する都市計画の定期見直しに併せ、用途地域など土地利用の見直しを進めてまいります。

石清水八幡宮駅周辺につきましては、まちの玄関口としてふさわしい駅前周辺の整備に向け、関係者と連携し、グランドデザイン(目指す将来像)を検討することとしております。

- 地域未来投資促進法に基づく基本計画策定(新規) 360万円
- 石清水八幡宮駅周辺地区まちづくり構想の検討(新規) 1,000万円

- 科手土井線道路整備(放生川踏切道)(設計)(新規) 5,000万円
- 橋本駅周辺拠点整備(継続) 3億450万円※2月補正分含む。
- 野神線道路整備(継続) 1億1,370万円
- 地域公共交通網の再編検討(新規) 500万円
- やわたブランド創造事業(充実) 100万円
- 地域農業担い手認定者支援(スマート農業実装チャレンジ、アグリチャレンジング支援)(継続) 1,484万円
- 農業振興地域整備計画の策定(継続) 405万円

自然と歴史と文化が織りなす 観幸のまち やわた



本年3月に策定した「観光基本計画」では、文化観光を核として、「神仏習合の聖地」の創造や、東高野街道の保存整備、かわまちづくりの実現に取り組むこととしております。令和6年度は、これまでの観光庁のレガシー形成事業の成果を踏まえた新・空中茶室創造事業や、観光まちづくりの体制づくりについて、京都府やお茶の京都DMOと連携を進めてまいります。

また、2025年大阪・関西万博に向けては、淀川舟運のほか、エジソンの逸話にちなんだ「竹あかり」のイベントや、社寺が連携した文化財一斉公開など、本市ならではの魅力を

発信し、国内外から訪れていただけるイベントの造成に取り組むこととしております。

- 新・空中茶室創造推進事業(継続) 100万円
- 観光振興費(さくらまつり、松花堂ウォーク、トイレ設置)(継続) 187万円
- 大阪・関西万博関連事業の実施(一部新規) 200万円
- 徒然草文学賞表彰(継続) 1,270万円
- 名勝松花堂及び書院庭園保存活用事業(継続) 1億4,915万円